

松隈洋ワークショップシリーズ vol.4

建築家

前川國男の世界

「風景になる建築」前川國男、
晩年の「環境建築」をめぐって「夏編

前川研究の第一人者・松隈洋氏を講師に迎え、弘前市立博物館と緑の相談所を題材に、前川國男が晩年にたどり着いた「環境建築」の思想を学ぶ2日間。
ル・コルビジェからの影響を越え、建築が街や緑、風景の中にあるように存在しうるのか。
座学と見学を通して、前川建築の新たな魅力に迫ります。

日時

1日目
2026 7.25 (土) 14:00~16:00
弘前市民会館(大会議室)
座学

2日目
2026 7.26 (日) 10:00~15:00
弘前市立博物館及び緑の相談所
見学&弘前市民会館大会議室にて座談会を実施

※全2回、どちらか1日でもご参加いただけます。
※両日とも開始30分前から受付いたします。
※2日目の集合場所は初日にお伝えいたします。

参加費 2日間通し 2,500円
(1日のみ参加 1,000円、2日目のみ 1,500円 ※入館料含む)

定員 各回30名

お申し込み方法 窓口またはお電話でお申し込みください。

お申し込み
お問合せ
弘前市民会館 TEL 0172-32-3374
9:00~17:00 〒036-8356 青森県弘前市大字下白銀町1番地6
休館日/毎月第3曜日(月曜日が休日の場合、翌日)

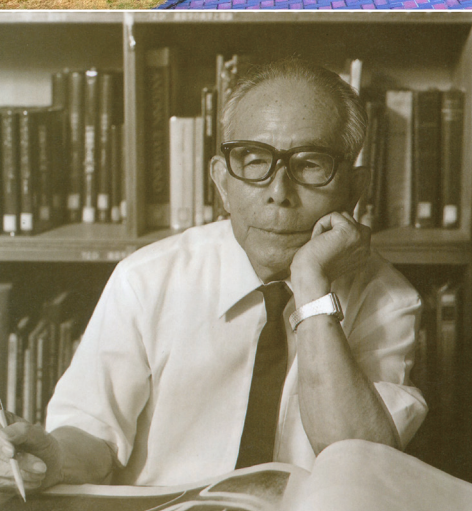
主催:弘前市指定管理者 ひろさきトルツリーグループ(弘前市民会館)
後援:弘前市 協力:前川國男の建物を大切にす会



講師 松隈 洋

神奈川大学教授
京都工芸繊維大学名誉教授

講師プロフィール・ワークショップの
詳細については裏面を
ご覧ください



弘前市立博物館



弘前市緑の相談所



講師 松隈 洋 HIROSHI MATSUKUMA

神奈川大学教授／京都工芸繊維大学名誉教授

1957年兵庫県生まれ。1980年京都大学工学部建築学科卒業、前川國男建築設計事務所入所。2000年4月京都工芸繊維大学助教授。

2008年10月同教授、2023年4月から現職。工学博士(東京大学)。専門は近代建築史、建築設計論。主な著書に、『未完の建築 前川國男論・戦後編』、『建築の前夜 前川國男論』、『ル・コルビュジエから遠く離れて』、『モダニズム建築紀行』、『ルイス・カーン』、『近代建築を記憶する』、『坂倉準三とはだれか』、『建築家・坂倉準三「輝く都市」をめざして』、『残すべき建築』、『前川國男 現代との対話』(編著)、『建築家・前川國男の仕事』(共編著)、『建築家大高正人の仕事』(共著)、『日本建築様式史』(共著)など。「生誕100年・前川國男建築展」(2005年)事務局長、「文化遺産としてのモダニズム建築—DOCOMOMO20選」展(2000年)と「同100選」展(2005年)のキュレーションの他に、A・レーモンド、坂倉準三、C・ペリアン、白井晟一、丹下健三、村野藤吾、谷口吉郎・谷口吉生、吉村順三、大高正人、増田友也、山本忠司、浦辺鎮太郎、瀧光夫、鬼頭梓など、多くの建築展の企画に携わる。

DOCOMOMO Japan代表(2013年5月～2018年9月)。文化庁国立近現代建築資料館運営委員(2013年4月～2020年3月)。同志社大学兼任講師(2009年4月～2012年3月, 2018年4月～2021年3月)。京都芸術大学非常勤講師(2011年～2025年)、同客員教授(2025年～)。2019年『建築の前夜 前川國男論』により日本建築学会賞(論文)受賞、2025年『未完の建築 前川國男論・戦後編』により第79回毎日出版文化賞(人文・社会部門)受賞。2026年同書により第76回文化庁芸術選奨文部科学大臣賞(評論部門)、日本建築学会著作賞を受賞。



前川國男と国立音楽大学附属幼稚園の竣工式にて(1983年10月8日)

ワークショップ内容

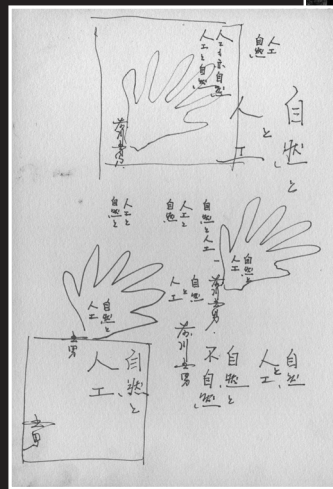
1日目 座学 [会場] 弘前市民会館 大会議室

「風景になる建築<環境建築>をめぐる」

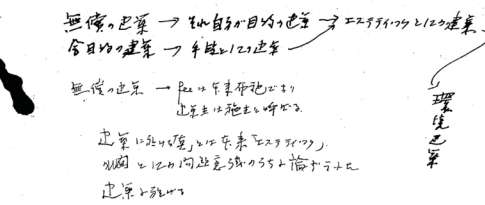
本ワークショップでは、前川國男の後期作品を読み解く鍵概念として「環境建築」を取り上げ、その思想的成熟の過程を、弘前に残る二つの建築を手がかりに考えます。前川は、若き日にル・コルビュジエのもとで近代建築の理念を学びながらも、晩年には、建築を単体として強く主張させるのではなく、都市や自然、歴史的景観との関係の総体として構想する地点へと歩みを進めました。そこでは、建築はひとつの完結した造形ではなく、周囲の環境に応答しつつ、街並みや風景の質をかたちづくる存在として捉えています。弘前市立博物館と緑の相談所は、そうした前川の到達点を示す重要な実作。本講義では、配置計画はもちろん、樹木や地形との関係に注目しながら、前川晩年の建築観を具体的に読み解いていきます。

「弘前市立博物館・緑の相談所について」

弘前市立博物館(1976年竣工)と緑の相談所(1980年竣工)は、いずれも前川國男晩年の代表作です。弘前公園の歴史的景観と豊かな緑を前提に、博物館は打込みタイルの外壁と抑制された構成により、緑の相談所は高さを抑えた造形と大屋根により、建築が環境の一部となるあり方を示しています。



自然と人工 (色紙の下書き)



前川國男の直筆メモ



2日目 見学&ワークショップ(座談会) [会場] 弘前市民会館 大会議室

2日目は、弘前市立博物館と緑の相談所の現地見学を通して、前川國男晩年の「環境建築」が弘前公園の景観や樹木、動線計画とどのように関係づけられているかを実感していただきます。見学後は会場にて、2日間の内容を総括する座談会形式のワークショップを行い、個々の考察を踏まえながら理解を深めていきます。

